

【保護者等】令和6年度学校評価アンケート結果<令和5年度との比較>

・実施期間

令和6年12月6日（金）～12月13日（金）

※A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

令和6年度	令和5年度
◆全体回答者数・回答率 11名・57%	◆全体回答者数・回答率 11名・52%
1 子どもは、学校で良好な人間関係を築き、思いやりの心を持って行動している。 A：11 B：0 C：0 D：0	A：6 B：4 C：1 D：0
2 教職員は、一人一人の子どもの実態や目標、課題に応じて、指導方法や教材教具を工夫した学習指導をしている。 A：8 B：2 C：1 D：0	A：7 B：3 C：1 D：0
3 学校は、授業や学校生活の中で、ICT機器（タブレット端末、パソコン、点字電子手帳等）の活用を推進しようとしている。 A：9 B：1 C：0 D：0	A：7 B：4 C：0 D：0
4 キャリア教育、進路指導等に関する質問です。 〈小学部の保護者等の方へ〉 学校は、子どもの将来を見据え、発達段階に応じた教育活動に取り組んでいる。 〈中学部、高等部の保護者等の方へ〉 学校は、子どもの卒業後の進路実現に向け、必要な情報提供や進路指導を計画的に行っている。 A：6 B：3 C：0 D：0	A：6 B：5 C：0 D：0
5 教職員は、子どもの人権に配慮した指導・支援を行っている。 A：8 B：1 C：2 D：0	A：8 B：3 C：0 D：0

<p>6 他の盲学校や地域の学校等との交流及び共同学習は、対面・オンライン等いずれも、子どもの実態に応じた内容や方法で実施されている。</p> <p>A : 8    B : 3    C : 0    D : 0</p>	<p>A : 6    B : 3    C : 2    D : 0</p>
<p>7 学校は、健康や安全、衛生に係る指導を適切に行っている。</p> <p>A : 7    B : 3    C : 1    D : 0</p>	<p>7 学校は、感染症対策を含む健康や安全、衛生に係る指導を適切に行っている。</p> <p>A : 9    B : 2    C : 0    D : 0</p>
<p>8 学校には、視覚障害教育に適した施設設備が整備されている。</p> <p>A : 9    B : 2    C : 0    D : 0</p>	<p>A : 9    B : 2    C : 0    D : 0</p>
<p>9 学校は、火災や地震等に対する防災教育や防災対策を適切に実施している。</p> <p>A : 10    B : 1    C : 0    D : 0</p>	<p>A : 8    B : 3    C : 0    D : 0</p>
<p>10 教職員は、「個別の教育支援計画」の作成にあたり、保護者等と話し合う中で、指導目標や指導計画等をわかりやすく伝えている。</p> <p>A : 7    B : 4    C : 0    D : 0</p>	<p>A : 7    B : 1    C : 3    D : 0</p>
<p>11 教職員は、子どもの教育に関する相談に適切に応じている。</p> <p>A : 7    B : 3    C : 1    D : 0</p>	<p>A : 6    B : 4    C : 1    D : 0</p>
<p>12 教職員は、子どもの学校での様子について、日頃から家庭と情報を共有できている。</p> <p>A : 7    B : 4    C : 0    D : 0</p>	<p>A : 7    B : 3    C : 1    D : 0</p>
<p>13 学校は、保護者等や学校関係者に、たよりやホームページ等を通じて、学習の様子や行事等をわかりやすく紹介している。</p> <p>A : 9    B : 2    C : 0    D : 0</p>	<p>A : 7    B : 3    C : 1    D : 0</p>
<p>14 意見等 ・行事予定の保護者周知に関わる要望</p>	<p>14 意見等 ・学校生活と卒業への思いについて記載 ・順調な学校生活の感謝についての記載 (2名)</p>

## 保護者等アンケートについて

### 1 概要

全13項目のうち、次の9項目は全ての保護者等がAまたはBと評価。

- ① 学校生活（人間関係・思いやり）
- ③ 情報教育（ICT活用）
- ④ キャリア教育・進路指導
- ⑥ 交流及び共同学習
- ⑧ 施設設備
- ⑨ 防災（教育・対策）
- ⑩ 個別の教育支援計画
- ⑫ 保護者連携
- ⑬ 広報（たより・HP）

特に①、⑥、⑬については前年と比較し、A評価の割合が増すなど改善が見られた。

一方、②授業（指導方法・教材教具）、⑤人権、⑦健康・安全、⑪連携相談については、少数ではあるが、C評価が見受けられた。特に子供の人権に配慮した指導支援については、2件のC評価となった。

### 2 今後に向けて

児童生徒の人権や安全にかかわることは、教育現場で最も重んじられなければならない事項である。

よい評価をいただいた項目については、次年度も慢心することなく引き継ぐと共に、C評価が見られた3項目については、教職員全体で受け止め、日々の教育活動の中で具現化する。